



新春走り始め大会

平成24年 新春走り始め大会結果 (各部1位は右の図のとおりです)

平成24年新春走り始め大会(主催:八重瀬町体育協会)が1月8日、具志頭陸上競技場をスタート・ゴールに開催されました。各コースに227人が参加。午前9時の号砲で参加者は元気よく一斉にスタートし、思い思いに町内を走り抜けました。最年少出場となった横田波南ちゃん(1)の家族は「家族みんなで参加することができてよかったです」と話し、「今年一年、家族が健康で過ごせるように」と抱負を語りました。大会後には、もちつきも行われ、温かい湯かきたての餅が参加者などに振る舞われました。



具志頭小・中学校全日本リコーダーコンテストへ

1月28日、うるま市で開催された「第31回沖縄県リコーダーコンテスト(主催:沖縄県リコーダー教育研究会)」において、具志頭中学校吹奏楽部が四重奏の部(2団体)と合奏の部(1団体)で参加し、全てで金賞、具志頭小学校は四重奏の部(2団体)で金賞と銀賞、合奏の部(1団体)で金賞を受賞しました。また、四重奏の部で参加した具志頭中学2年生の団体が、86団体の中で見事大賞を受賞しました。友利芽垂利部長は「後日、周りから『おめでとう』と言われて大賞の実感がわいてきた」と喜びを語り、次の目標は「日本一」ときっぱり答えました。また、副部長は「県大会での反省を生かし、練習を重ねて本番に臨みたいですよ」と張り切っていました。

昨年に引き続き、具志頭中学校吹奏楽部は「心に届く音楽を」をモットーに3月25日、東京都で開催される「第33回全日本リコーダーコンテスト」に具志頭小学校とともに出場します。町民の皆様、応援を宜しくお願いします。



小学1年の部	男子2km	がかずらんま 賀数 翔天	11分16秒
	女子2km	かかずかえで 嘉数 楓	12分04秒
小学2年の部	男子2km	みねい せいや 嶺井 聖也	8分57秒
	女子2km	あらかき みむ 新垣 美夢	10分12秒
小学3年の部	男子2km	やぎ かんじ 屋宜 寛二	9分41秒
	女子2km	いなふくまな 稲福 菜南	9分42秒
小学4年の部	男子2km	まつどうゆうや 松堂 有治	8分35秒
	女子2km	あらかき みり 新垣 美里	9分12秒
小学5年の部	男子2km	とうやまとわ 當山 十和	7分51秒
	女子2km	なかむら ゆうか 仲村 優香	8分43秒
小学6年の部	男子2km	かみやしゅんすけ 神谷 俊輔	7分50秒
	女子2km	きんじょう 金城 みゆ	8分19秒
中学の部	男子3km	しんがさかずと 新垣 一斗	20分07秒
	女子3km	なかやま みかこ 中山 美可子	13分13秒
一般の部	女子3km	きんじょうまりあ 金城 真理亜	15分37秒
	男子5km	くにおか ゆうじ 國岡 幸治	21分25秒
一般の部	女子10km	やまだ さちこ 山田 幸子	100分02秒
	男子10km	くでけんひでちか 久手堅 秀誓	35分59秒
壮年の部	壮年5km	いふくまきひろ 伊福 正浩	26分21秒

収穫野菜でカレーパーティー



トウモロコシやスイカなど、園内にいろいろな野菜を植え、収穫体験をしている具志頭幼稚園の園児らが2月14日、昨年の秋に植えたジャガイモと玉ねぎの収穫を行いました。土を掘り返すたびに出てくるたくさんのジャガイモに園児らは大はしゃぎ。収穫した野菜は、後日開かれたカレーパーティーの美味しいカレーの具材となってテーブルに並びました。

町長 e-Tax で確定申告 PR

今年も確定申告の時期を迎え、2月16日から3月15日の期間、申告の受け付けが行われています。比屋根方次町長は2月8日、八重瀬町役場で、気軽に便利な国税電子申告・納税システム「e-Tax」を使って確定申告を行いました。比屋根町長がe-Taxを使って確定申告するのは初めてで、那覇税務署の職員から説明を受けながら、必要事項を入力して、データ送信しました。比屋根町長は「早くて便利なので来年も利用したい」と話し、「誰でも簡単に申告できるe-Taxをたくさんの人に使ってもらいたい」と早めの申告を呼び掛けました。

e-Taxでの確定申告には、インターネットに接続したパソコンであれば24時間いつでも申告・納税手続きができて便利で使いやすくなっています。また、e-Taxの利用にはICカードリーダーライター、住基カード、電子証明書が必要となります。

町民の皆様、役場税務課窓口にもe-Taxが利用できるパソコンを設置しておりますので、申告がまだの方は、e-Taxをご利用されてみてはいかがでしょうか。



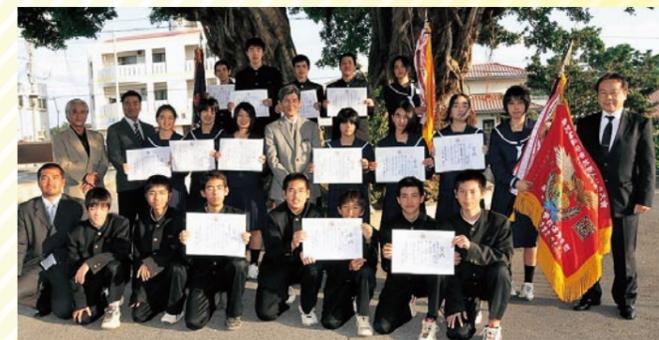
町内中学生の活躍光る



第31回沖縄県リコーダーコンテスト、第37回島尻地区中学校新人大会で活躍した具志頭・東風平の両中学校の生徒らが役場を訪れ、比屋根方次町長へ結果を報告しました。

東風平中学校を代表して男子バレーボール部の金城雄人主将が「チーム東風平として大会に臨み優勝旗を3つ持ち帰ることができたので、夏季大会では優勝旗5つを目指し頑張ります」、具志頭中学校を代表して女子ソフトテニス部の金城亜紀主将が「大会で結果を出すことができたのは、支えてくれた周りの皆様のおかげです。夏季大会では、チーム一丸となって優勝旗の一つでも多く取れるよう頑張ります」と力強くあいさつしました。

比屋根町長は「皆さんが役場を訪れるたびに良い報告があるので喜んでいきます。夏季大会の結果も楽しみにしていますので、部活と勉強を両立しながら頑張ってください」と激励しました。



玻名城文庫が琉球新報活動賞を受賞



玻名城文庫が社会活動部門において、琉球新報活動賞を受賞しました。琉球新報活動賞は「一隅を守り千里を照らす」を基本理念に、社会の第一線で活躍している人や団体に贈られます。玻名城文庫は、地域の子どもたちを対象に1969年から児童図書貸出しや読み聞かせなどの活動を行い、2008年度に読書推進協議会より優良読書グループとして全国表彰もされています。設立当初から関わってきた元教員の仲村春子さんは「玻名城文庫は、地域をつなぐ場所の一つ。子どもが少なくなっている現在、各世代の憩いの場、交流の場として利用してほしい」と話していました。

かきぞめ席書大会で入賞

今年で22回目の開催となる「新春1,000人かきぞめ席書大会」が1月7日、沖縄県立武道館で開かれました。4歳の幼児から最高齢77歳までの1,200人が参加し、新年の思いを筆に託し各自の課題に取り組みました。



【東風平小一年】
新垣千浩(伊覇)



【東風平小一年】
新垣浩孝(伊覇)



【幼児】
伊福莉世(具志頭)



ぐしちゃん 朝市

出店者募集

応募対象者

・八重瀬町内の農業、漁業の生産者、販売者及び八重瀬町商工会の会員、又は、準備委員会が認めた団体や事業所等

募集期間

・平成24年3月1日(木)～平成24年3月30日(金)
9:00～17:00

※土日、祝祭日、平日12:00～13:00は除く。

連絡先・八重瀬町役場 農林水産課 ☎098-998-4624

平成 24 年度

はり・灸・あんま・マッサージ助成券の 交付が始まります!

平成24年4月1日から受付開始



◎対象者

国民健康保険の加入者で末梢神経疾患、又は運動器疾患等による症状のある方
【現在医療機関で治療中の方、保険対象の施術（はり・灸・あんま・マッサージ・柔道整復）を受けている方は除く】

☆1回 1,000円の助成を行う利用券です。助成券は、6枚を年度内に2回交付できます。
(但し、予算の範囲内での交付)平成24年4月1日から具志頭庁舎1階健康保険課窓口にて受付開始します。

申請に必要なもの

国民健康保険加入者

- 国民健康保険被保険者証
- 印鑑（世帯主）及び（申請者）

お問い合わせ先
健康保険課（具志頭庁舎）
☎998-2210

※但し、八重瀬町の指定を受けた施術所に限り利用することが出来ます。
※国保税の納め忘れがない方のみの交付となります。

「八重瀬町地域福祉 (活動)計画」を策定中!

平成 24 年度 八重瀬町 地域福祉計画策定 スケジュール (予定)

八重瀬町地域福祉(活動)計画策定に
かかわる町民意識調査を実施しました。

皆様が、地域で暮らしていく上での課題
や地域での福祉活動に関するお考えや要
望・意見などの把握を目的に、無作為抽
出にて、1,000名の方々へ町民意識調査
を実施しました。ご多忙のところ、本調査
の趣旨、内容をご理解の上ご協力いただ
き誠にありがとうございました。

策定委員会

平成24年6月、9月、12月
平成25年3月（答申）

作業部会

平成24年5月、8月、11月
平成25年1月、2月

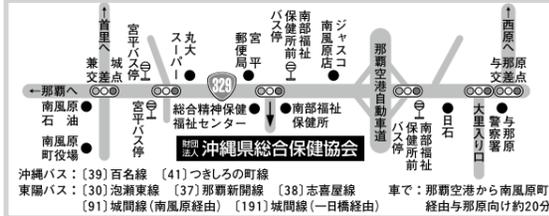
事務局

- 施策の基本方針（平成24年5月～7月）
- 推進施策の検討（平成24年5月～平成25年2月）
- 地域福祉懇談会の実施（平成24年4月～9月）

☎(財) 沖縄県総合保健協会 皆様の健康をサポートします。



- 一般健康診断
- 特殊健康診断
- がん検診
- 日帰り人間ドック
- 脳ドック
- アンチエイジング
(抗加齢)ドック



〒901-1192 南風原町字宮平212番地
ホームページアドレス <http://www.ganjuu.or.jp>

TEL 098-889-6474 FAX 098-889-6485

健康回覧板

病院における在宅医療について

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 小児神経総合グループ 松岡 孝

徐々に春の訪れを感じる季節となりましたが、未だ寒い日が続いております。寒い屋外にいれば、早く家に帰りたくなるのではないのでしょうか。疲れた時、ストレスのある時も家に帰りたくなる思いが込み上がってきます。イヌの帰巢本能は、どんなに家から離れた場所からでも家に帰りつくことができると言われてます。一方、ヒトは家から離れば離れる程、コンパス、地図、最近ではGPSなど文明の利器がないと（あっても迷う人もいますが）帰ることができません。ヒトは方向感覚という面ではイヌより劣っているかもしれませんが、家に帰りたくなる思いは、きっとイヌと勝るとも劣らない程強い思いを持っていると思います。

肉体的、精神的に病んでしまった時に、点滴や手術など医療を受けるために日常生活から隔離された病院に、仕方なく入院することになると思います。しかし、病院ですべての病気がケガが治るわけではなく、治せるものを治しているに過ぎません。また医療費高騰への国の対策は、出来高でなくDPC（定額制）の導入、在院日数の制限などが行われています。その中で在宅医療、なるべく住み慣れた場所で受ける医療の推進も行われています。

さて“在宅医療”とは何でしょうか？この言葉には2つの意味があると思います。1つは病院の外で行う医療の全てという意味と、病院で行っている医療にはない、今の医療では満足されていない“何か”を指していると思います。沖縄県立南部医療センター・こども医療センターでは、昨年4月から小児の在宅医療に重点を置いた小児神経総合グループを立ち上げました。難病や重度障害を抱えているため、これまでは退院することが困難と思われてきた小児であっても、医療機器が改良され、自宅で入院中と同様な治療 HОT（酸素投与）、人工呼吸器（器械で呼吸を助ける）、経管栄養（チューブを使用して食事をする）などが行えるようになりました。当グループでは、退院を目標とする患児に必要な医療機器の選択と設定、ご家族と訪問看護などの福祉など地域サポートと連携支援、保育園や学校などとの連絡などを行い、家に帰っての治療に切り替えの準備ができて初めて退院が可能となります。また、ご家族には病院でお任せするような受け身の医療から、今後は自分で受ける医療を選択する能動的な考えが必要となってくると思います。

自分の家に帰って家族と過ごしたい、自分の家で病気を治したいといった自然な思いを大切に、家族と共に生活し、保育園、学校へ通うというような普通のことを普通にできるように、医師の固定観念にとらわれないように、多職種の方々と連携を大事にして“何か”を探し、取り入れて診療を行ってまいりたいと思います。

★ みなさまのくすり箱 あにも調剤薬局

みなさまのおくすりに
関するお悩み、ご要望を
解決します。

処方せんの受付（全ての医療機関）
月～金 午前8：30～午後6：30
土 午前8：30～午後4：30



伊覇バス停前／伊覇そばの隣
☎998-1189 FAX 998-0989